

1

Vol.23  
発行 2026.1



宮古地区広域  
行政組合HP

# 宮古地区広域行政組合広報

## 目次

- ◎年頭のごあいさつ・・・・・・・・・・2
- ◎職員の給与などを公表します・・・・・・・・3
- ◎令和6年度歳入歳出決算報告・・・・・・・・4～5
- ◎事務局施設課からのお知らせ・・・・・・・・6～8
- ◎消防本部からのお知らせ・・・・・・・・9～12



### 【表紙】

令和7年10月3日(金) こがわこども園(岩泉町) 幼年消防クラブ結成式の様子

火事を出さない3つのちかいを宣言

「火遊びはしません・火を大切にします・火事を出さないようにします」



宮古地区広域行政組合 管理者

宮古市長 中村尚道

令和8年の年頭にあたり、宮古地区広域行政組合を代表し、謹んで新年のごあいさつを申し上げます。

宮古地区広域圏の住民の皆様におかれましては、日頃より広域行政の運営に対しまして、ご理解とご協力を賜り心から感謝申し上げます。廃棄物処理・消防など、地域の皆様の暮らしに直結する広域行政を担う立場として、責任の重さを日々痛感しております。

当組合では一般廃棄物処理業務においては、ごみ減量化の推進及び廃棄物処理体制の整備などについて構成市町村と連携し、廃棄物処理施設の安定的かつ効率的な施設運用を図っております。

消防業務においては、全ての消防署所に女性職員を配置し、消防力の維持と多様な視点による住民サービスの向上に努めております。

令和8年4月からは県内10消防本部による指令センターの共同運用が開始されます。高度かつ確実な出動体制が図られるよう組織体制の見直しなどを行い、災害対応力の充実強化を進めてまいります。

廃棄物処理施設においては、一般廃棄物第2最終処分場の建設工事が始まります。複数年にわたる工事となりますが、令和10年度からの運用開始に向け、構成市町村と連携して着実に事業を進めてまいります。

これらの業務を通じて、住民サービスのさらなる向上と、災害時等においても、皆様が、安心して生活できる安定した事業体制となるよう、取り組みを継続いたします。

結びに、本年が皆様にとりまして、幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げ、年頭のごあいさつといたします。

# 年頭のごあいさつ



宮古地区広域行政組合議会

議長 木村 誠

令和8年の新春を迎えるにあたり、宮古地区広域行政組合議会を代表し、謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

宮古地区広域行政組合は、宮古市、山田町、岩泉町、田野畑村の4市町村が連携し、ごみ・し尿処理、救急救命及び消防活動の業務など、住民生活に密接した事業を共同で推進しております。

当地域は、人口減少と少子高齢化という深刻な課題に直面しております。若年層の流出や出生数の減少により、地域の活力が失われつつあり、高齢者の割合が年々増加する中で、行政サービスの在り方も大きな転換期を迎えています。

こうした状況において、広域行政の役割はますます重要となっており、一般廃棄物処理業務においては、構成市町村と連携したごみの減量化・資源化に向けた継続的な取り組みのほか、一般廃棄物処理施設の安定的及び効率的な運営が重要であると認識しております。

消防業務においては、住民の消防行政への信頼や期待に応えるために、より一層地域防災力の強化を図るとともに、近年多発する大規模災害への備えとして、関係機関との連携及び協力体制の維持が不可欠であると考えております。

当議会としても、地域の声に耳を傾けながら、広域行政の役割を果たし、住民福祉の向上に寄与できるよう、議会一丸となって努めてまいります。

結びに、本年が皆様にとって希望に満ちた健やかな一年となりますよう心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

# 職員の給与などを公表します

令和6年度の職員の給与・定員管理などを公表します。

## 1) 総括（令和6年度決算）

### 1 人件費

管内人口 (7.3.31現在)	歳出額 (a)	実質収支	人件費 (b)	人件費率 (b/a)	人件費率 (R5年度)
69,448 人	3,687,925 千円	118,142 千円	1,832,260 千円	49.7 %	51.7 %

### 2 職員給与費

(単位：千円)

職員数	給与費			
	給料	職員手当	期末・勤勉手当	合計
一般行政職 17人	67,682	6,768	27,359	101,809
消防職 202人	784,175	247,687	315,238	1,347,100
合計 219人	851,857	254,455	342,597	1,448,909

※職員数は令和6年4月1日現在の人数です。  
職員手当には退職手当は含まれていません。

## 2) 職員の平均給料月額・初任給などの状況

### 1 職種別・学歴別初任給および経験年数別平均給料月額 (令和7年4月1日現在)

(単位：円)

区分	決定 初任給	経験年数			
		10年	15年	20年	
一般行政職	大卒	215,100	274,500	298,000	323,000
	高卒	189,300	248,100	278,600	302,700
消防職	大卒	247,500	306,800	334,800	369,400
	高卒	213,100	288,700	302,700	345,300

### 2 平均給料月額と平均年齢

区分	平均年齢	平均給料月額
一般行政職	43.7歳	329,856円
消防職	37.8歳	325,527円

## 3) 職員の手当の状況

### 1 期末・勤勉手当

◎1人当たり平均支給額（令和6年度実績） 1,564千円

◎支給割合 期末手当=2.50月分、勤勉手当=2.10月分

※そのほかに職制上の段階などによる加算措置があります。

## 2 退職手当（令和7年4月1日現在）

勤続年数	自己都合	勸奨・定年
勤続20年	19.6695月分	24.58688月分
勤続25年	28.0395月分	33.2708月分
勤続35年	39.7575月分	47.7090月分
最高限度	47.7090月分	47.7090月分
1人当たり平均支給額 (令和6年度退職者)	3,061千円	23,129千円

【そのほかの加算措置】定年前早期退職特例措置（2～45%加算）

## 3 そのほかの手当（令和6年度実績）

各種手当	支給実績（千円）	支給職員1人当たり 平均支給年額（円）
特殊勤務手当	12,159	72,811
時間外勤務手当	64,338	344,056
扶養手当	35,368	272,058
住居手当	15,533	298,717
通勤手当	31,579	162,778
夜間勤務手当	15,798	96,329
休日勤務手当	70,141	449,619
管理職手当	8,150	582,171
単身赴任手当	816	408,000
管理職員特別勤務手当	523	47,500

## 4) 議員等の報酬

区分	報酬年額	区分	報酬日額
議長	45,000円	監査委員	識見を有する者 6,500円
副議長	42,000円		
議員	40,000円	議会選出	6,500円

※管理者及び副管理者の報酬は支給していません。

## 5) 職員数の状況

職種別職員数の状況と主な増減理由（各年4月1日）

職種	令和7年 (a)	令和6年 (b)	対前年 増減数 (a)-(b)	主な増減理由
一般行政職	17人	18人	-1人	人事異動による減
消防職	203人	202人	1人	採用による増
合計	220人	220人	0人	

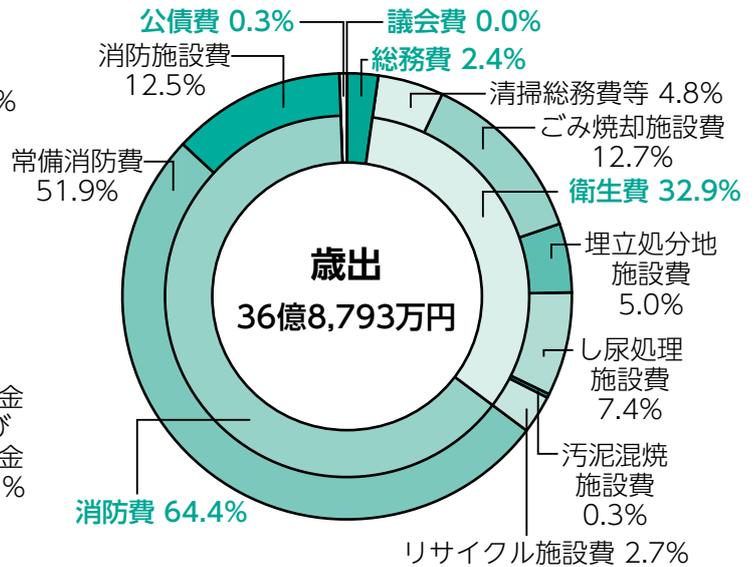
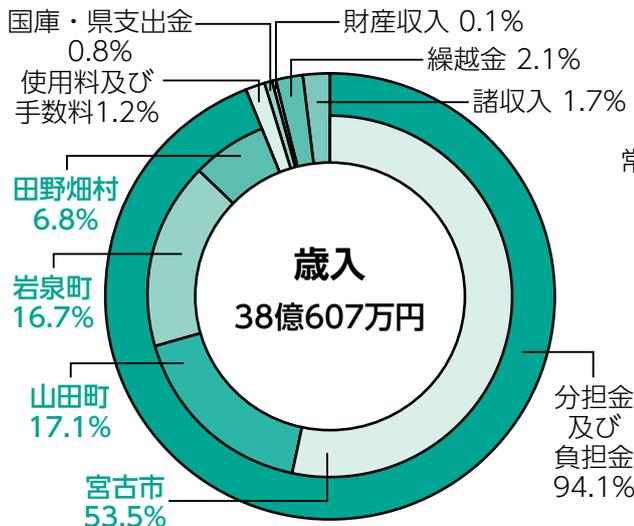
※構成市町村からの派遣職員を含む

# 令和6年度 宮古地区広域行政組合決算の概要をお知らせします

令和6年度の決算額は、歳入が38億607万円で前年度比2億8,866万円(8.2%)の増額、歳出が36億8,793万円で前年度比2億5,123万円(7.3%)の増額でした。

## 【歳入】

区分	金額	構成比	説明
分担金及び負担金	35億8,218万円	94.1%	構成市町村からの負担金
宮古市	20億3,680万円	53.5%	
山田町	6億4,882万円	17.1%	
岩泉町	6億3,701万円	16.7%	
田野畑村	2億5,955万円	6.8%	
使用料及び手数料	4,626万円	1.2%	ごみ処理手数料、消防手数料など
国庫・県支出金	2,832万円	0.8%	循環型社会形成推進交付金事業費補助金など
財産収入	436万円	0.1%	車両の売却収入など
繰越金	8,071万円	2.1%	
諸収入	6,424万円	1.7%	資源物売却代金など
<b>歳入合計</b>	<b>38億 607万円</b>		



## 【歳出】

区分	金額	構成比	説明
議会費	176万円	0.0%	議会運営に要した経費
総務費	8,818万円	2.4%	事務局の管理運営に要した経費
衛生費	12億1,160万円	32.9%	ごみ収集運搬委託 廃棄物処理施設管理運営に要した経費
消防費	23億7,426万円	64.4%	消防・救助業務に要した経費 施設・車両等の整備に要した経費
公債費	1,213万円	0.3%	借入金返済など
<b>歳出合計</b>	<b>36億8,793万円</b>		

## 令和6年度に実施した主な事業

### 議会事業 1,755,960円

宮古地区広域行政組合議会の開催に要した経費です。

### 一般管理事業 87,798,843円

職員の人件費と効果的な事務処理を図るための財務システム等の運用など、事務局の管理運営に要した経費です。

### 清掃総務事業 176,142,340円

山田町、岩泉町、田野畑村のごみ収集運搬委託に要した経費です。

山田町地域	68,925,340円
岩泉町地域	84,502,000円
田野畑村地域	22,715,000円

### ごみ焼却施設事業 468,734,466円

職員の人件費と清掃センターの運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

### 埋立処分地施設事業 185,090,390円

職員の人件費と最終処分場の運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

### し尿処理施設事業 270,894,778円

職員の人件費と衛生処理センターの運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

### 汚泥混焼施設事業 11,173,005円

下水処理及びし尿処理に伴い発生した汚泥を焼却する施設の管理運営に要した経費です。

### リサイクル施設事業 99,549,756円

職員の人件費と資源物（缶・ビン・ペットボトル・プラ類・紙類等）を処理するリサイクル施設の運転管理及び施設の整備等に要した経費です。

### 常備消防事業 1,912,301,125円

消防職員の人件費と火災予防、警防、救急、救助業務等に要した経費です。

### 消防施設事業 461,956,608円

消防施設の整備、車両購入等に要した経費です。

災害対応型非常用発電設備設置工事監理業務委託  
（宮古消防署） 2,695,000円

照明器具等更新工事監理業務委託  
（宮古消防署） 550,000円

女性専用施設庁舎改修工事監理業務委託  
（岩泉消防署、田老分署、川井分署）  
3,091,000円

災害対応型非常用発電設備設置工事  
（宮古消防署） 57,420,000円

照明器具等更新工事  
（宮古消防署） 29,286,400円

女性専用施設庁舎改修工事  
（岩泉消防署、田老分署、川井分署）  
48,390,100円

高規格救急自動車購入  
（岩泉消防署） 37,554,000円

いわて消防指令センター総合整備事業  
282,970,108円



高規格救急自動車



女性専用施設

## 令和8年度のイベント開催について

### ● フリーマーケット

リユース（再利用）の促進を目的に、組合の敷地を開放してフリーマーケットを開催しています。令和7年度は6回開催しました。令和8年度の開催については、事務局ホームページや各市町村広報でご案内します。

### ● 令和7年度フリーマーケット開催結果

日時	出店者数	来客者数
4月27日(日)	20店	135名
6月29日(日)	22店	177名
7月27日(日)	23店	116名
8月31日(日)	16店	159名
9月28日(日)	18店	159名
10月26日(日)	16店	136名



フリーマーケットの様子

### ● 再生品展示会

回収された不用品（タンス・テーブル等）の中から再利用できるものを展示し、希望者へ無償でお譲りします。令和7年度は5月、11月に開催しました。

再生品の回収状況により、開催日は不定期となります。

令和8年度の開催については、事務局ホームページや各市町村広報でご案内します。



展示された再生品

### ● ポスターコンクール

小学校3年生から6年生を対象に、4R・環境保護推進ポスターコンクールを開催しています。令和8年度の作品募集の詳細は、事務局ホームページへ掲載のうえ、各小学校を通じてご案内します。



入賞作品は宮古市役所市民交流センターに展示しました  
(写真は令和6年度入賞作品)

令和7年度は122作品の応募  
がありました！  
令和8年度もよろしくね♪



**エコロ**  
若手県3R推進キャラクター

## 施設見学・出前講座を実施しています

施設に持ち込まれた廃棄物がどのように処理されているか理解を深めていただくため、施設見学や出前講座を実施しています。学校だけではなく、自治会など一般の団体の参加もできますので是非ご応募ください。

申し込み・問い合わせ先：事務局施設課 ☎0193-64-7111

### ● 施設見学

**実施日時：**月曜日～金曜日（祝日や年末年始を除く。）

<b>所要時間：</b> 宮古清掃センター	約40分
みやこ広域リサイクルセンター	約40分
一般廃棄物最終処分場	約20分
宮古衛生処理センター	約40分

※見学施設は1か所からでも可能です。



小学校による施設見学の様子  
(一般廃棄物最終処分場)

### ● 出前講座

**実施日時：**要相談（土曜日・日曜日などでもご相談ください。）

**所要時間：**45分から60分程度（ご依頼いただいた時間内で対応します。）

**内 容：**職員が直接訪問して、ごみの処理の流れなどについてDVD等を使って説明します。



小学校による施設見学の様子  
(宮古清掃センター)

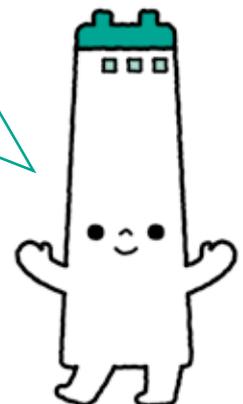


小学校による施設見学の様子  
(みやこ広域リサイクルセンター)



自治会による出前講座の様子

宮古清掃センターの  
**ミヤコン**です！  
皆さんが来るのを楽  
しみにしています！



## 資源物等の売払いについて

分別にご協力いただいている資源物は、みやこ広域リサイクルセンターで処理を行い、缶類・紙類などを売却しています。また、一般廃棄物最終処分場の不燃ごみから回収した鍋や釜などの鉄くずも売却して施設の運営費の一部として活用しています。

ごみの分別はリサイクルの推進のほか、ごみ処理費用の低減にもつながっていますので、引き続きごみの分別にご協力をお願いします。

引き続きごみの分別にご協力をお願いします！



### ● 令和6年度売払量及び売却額

品目	売払量	売却額	備考
アルミ缶	約79トン	21,716,558円	みやこ広域リサイクルセンターへ搬入
スチール缶	約35トン	1,649,391円	
段ボール	約265トン	5,632,766円	
新聞紙	約318トン	7,448,971円	
雑誌	約229トン	3,737,473円	
紙パック	約7トン	102,188円	
一升びん・ビールびん	約24トン	177,453円	
鉄くず	約237トン	10,196,244円	燃やせないごみから回収
合計	約1,194トン	50,661,044円	

## リチウムイオン電池にご注意ください

リチウムイオン電池を含む電子機器が資源物やごみとして持ち込まれることがあります。処理の工程で変形し、発火する危険があります。

近年、様々な電子機器にリチウムイオン電池が使われるようになったことから、全国のリサイクル施設や廃棄物処理施設で火事が発生しております。

火事によって施設の復旧に多くの費用がかかるだけでなく、復旧するまでの間にごみの収集にも影響してしまいます。

一般社団法人JBRC（右記QRコード）にて回収可能な電池（リチウムイオン電池、ニカド電池、ニッケル水素電池）と持ち込み可能な協力店が検索出来ますので、確認のうえ協力店へ持ち込みをお願いします。

なお、一般社団法人JBRCにおいて回収対象外（膨らんでいる、液が漏れているなど）となるものがあります。そういったものは協力店への持ち込みを断られることがありますので、当組合にご相談ください。



JBRC公式HP

## こがわこども園 3つのちかいで火災予防 幼年消防クラブ結成

岩泉町で新たに幼年消防クラブが誕生しました。

令和7年10月3日(金)、こがわこども園で結成式が行われ、新しい法被を身につけワッペンを受け取った園児のみんなは、大きな声で「火事を出さない3つのちかい」を元気に宣言しました。

幼年消防クラブ員となったのは3～5歳の園児16人。DVD視聴や消防車見学、消防署員の話の聞いて、正しい火の取扱いについて学びました。



### 幼年消防クラブとは

幼年消防クラブは、正しい火の取扱いを学び、防災意識を高めることを目的に、こども園や保育園ごとに結成されている自主的な防災組織です。

### クラブ員の募集！

管内では11クラブ、約380人の幼年クラブ員が活動しています。幼少期から防火・防災に係わる知識・技術を習得することで、各家庭からの火災の減少にもつながります。ぜひ、新たなクラブ結成をお待ちしております。お気軽に近くの消防署、分署にお問い合わせください。

→ロープブリッジ渡過は、水平に張った20mのロープを歩きはセーラー渡り、帰りはモンキー渡りで往復する訓練です。



全国の舞台で活躍!!  
消防救助大会出場

大川原消防士は、「指導してくださった先輩方、所属の皆様への感謝の気持ちを忘れずに、今後も日々の業務・訓練に取り組み住民に安全・安心を与えられる消防士になりたい。」と決意を新たにしました。



令和7年8月30日(土)兵庫県で開催された第53回全国消防救助技術大会ロープブリッジ渡過の部に、宮古消防署に勤務する大川原光将消防士が出場しました。厳しい訓練を経て6月に開催された岩手県大会で1位となり県を代表して全国大会に出場、全国でもトップクラスの技術により入賞という素晴らしい成績を収めました。

## マイナ救急の実証事業について

### ● あなたの命を守るマイナ救急

当消防本部では、令和7年10月1日から総務省消防庁と連携して、健康保険証の利用登録をしているマイナンバーカード（マイナ保険証）を活用した救急業務（マイナ救急）の実証事業を実施しています。

マイナ救急とは、救急隊が、マイナ保険証を活用して受診歴や処方薬などの情報を取得することで、より迅速で的確な救急業務を行うものです。



### ● 誰もが慌てる救急現場

通常の救急現場では、119番通報で到着した救急隊が傷病者の名前や生年月日等の基本的な情報の他、病歴・処方薬・かかりつけ病院の様々な情報を、本人や家族などから主に口頭で聞き取ります。

しかし、ケガや病気で苦しむ傷病者本人や気が動転している家族から情報を正確に集めるのは簡単ではありません。平常時であれば、答えられる内容でも、慌てていたり、緊張したりして記憶が曖昧になったり、分からなくなることもあります。

例えば、心臓の病気や高血圧などの持病は答えられても、飲んでいる薬の名前までは分からないということもあります。

### ● マイナ保険証の携行を

救急隊がマイナ保険証を活用して、傷病者の正確な医療情報を早期に確認できれば、より早く搬送先の病院へ連絡ができ、連絡を受けた病院も症状に合わせた検査・治療の事前準備に取りかかれます。また、救急隊は、必要な救命処置や観察も的確にでき、傷病者等に寄り添った救急活動ができます。

もしもの時に備えて、マイナンバーカードの取得、健康保険証の利用登録、そして普段からの持ち歩きに協力をお願いします。

### ● マイナ救急Q&A

#### Q 救急隊は、マイナ保険証から何が分かる？

A 傷病者の方の適切な治療につなげるための情報が分かります。

救急隊が必要な情報は、「診療・薬剤情報」、「健診結果」、救急搬送の際に役立つ情報をまとめた「救急用サマリー」です。救急用サマリーには、病院の受診歴や手術歴、電子処方箋などの情報が日付の新しい順に表示されます。



#### Q マイナンバーカードに入っている重要な情報まで見られるの？

A 救急隊は、限定された医療情報しか見ることはできません。税や年金などの情報は閲覧できない仕組みになっています。また、閲覧した医療情報は、保存することもできませんのでご安心ください。

## ○ マイナ保険証を活用した救急搬送の流れ

### ① 119番通報入電

通信指令員が、速やかに「どこで」「だれが」「どうした」のか、必要な情報を聴取します。併せて、傷病者のマイナ保険証の準備を依頼します。

(マイナ保険証を持っていない場合でも、通常の救急活動を実施します。)



### ② 救急隊が到着

救急隊が傷病者本人から同意を得てマイナ保険証を受け取ります。

(意識障害などで同意を得ることが難しい場合は、同意なしで閲覧することがあります。)



### ③ 医療情報の閲覧

マイナ保険証をタブレット端末で読み込み、専用のシステムから傷病者の医療情報を閲覧します。

次のような場面では、傷病者の方やご家族の負担を軽減できます。

- ・息苦しさや吐き気などで会話が難しい方の場合
- ・傷病者に付き添う家族等が病歴等を把握していない場合



### ④ 病院へ搬送

閲覧した情報を参考に搬送先の病院の選定・連絡、必要な救命処置を行い、病院へ搬送します。



詳しくはこちら (総務省消防庁ホームページ)



## 高性能ドローンを導入しました

令和7年5月、高性能ドローンを導入しました。機体の特徴として、赤外線機能やズーム機能付きカメラを搭載しており、災害現場での情報収集や搜索活動等で活用します。

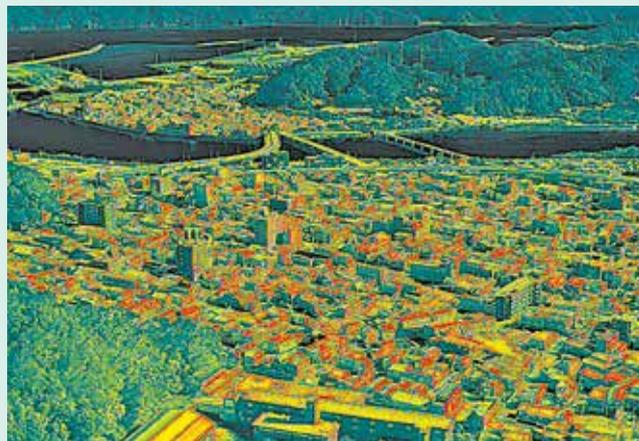


導入した機体の主な性能は次のとおりです。

- **サーマルカメラ** (赤外線を検知して、温度の高い部分を赤などに色分けして表示できます)
- **ズームカメラ** (望遠カメラは最大250m離れた細部まで鮮明に撮影が可能です)
- **スピーカー** (放送範囲は最大300mで、録音メッセージやリアルタイム放送が可能です)
- **スポットライト** (最大100mの照射距離があるライトがついています)
- **自動航行** (6つのセンサーにより、障害物の自動回避や安全な帰還が可能です)
- **飛行可能時間** 40分



通常カメラによる撮影



サーマルカメラによる撮影

当消防本部では、国土交通省航空局が認定する講習を修了したもの又は10時間以上の飛行訓練を行い、航空法関係法令及び飛行に関する知識を熟知し、操縦者として必要な操縦技術を習得したドローン操縦者が44人います。主な使用用途としては、次のものが挙げられます。

- ▶ 消防隊員等が立入ることが困難な場所での情報収集活動
- ▶ 火災発生時の延焼状況・残火状況の確認
- ▶ 行方不明者等の搜索活動
- ▶ 大規模災害時の情報収集
- ▶ 火災原因調査において、火災の全体像の把握・被害状況の詳細な確認

ドローンで収集した情報により災害状況の把握ができ、より効果的、効率的な消防活動につながり、また活動隊員の安全管理や二次災害防止に有効です。